

今月の特集

花粉に悩まされない
住まいの工夫

2月から徐々にスギ花粉の飛散が始まり、
つらい花粉の季節がやってきます。

そこで今回は、住まいの間取りや換気システムでできる花粉対策をご紹介します。
つらい花粉症を少しでも緩和して快適な毎日過ごしましょう。

花粉対策の基本は
花粉を侵入させないこと

毎年2月のスギ花粉から始まり、ヒノキやシラカンバ、ブタクサ花粉などに悩まされる人は多いのではないのでしょうか。マスクや手洗いが一般的な花粉対策ですが、住まいの工夫でできる花粉対策もあります。

まず第一に家に花粉を持ち込まないこと。帰宅の際は、衣服に付いた花粉をしっかり払い、身体や髪に付着した花粉を落とすことが大切です。住まいの新築を計画しているのであれば、花粉の付きやすいコートなどの上着を収納するクロークを玄関近くに設置したり、帰宅してすぐに手洗いや洗顔ができるよう、玄関付近に洗面台を設置することも効果的です。リビング階段は解放的でオシャレですが、階段の昇降時に衣服に付いた花粉をまき散らすことにもなるため注意が必要です。

花粉が多く飛散する時期は、屋外に洗濯物を干すと花粉が付着するので室内干しが基本です。スペースに余裕があれば、室内干しできるサンルームなどの物干しスペースを確保しましょう。サンルームは花粉対策だけでなく、雨の多い梅雨時期にも重宝します。そこまでスペースに余裕がなければ、格納式の物干しユニットや、バスルームの浴室乾燥

機の設置を検討しましょう。浴室乾燥機は浴室を換気する機能に加え、乾燥時間の設定や温風・冷風の切り替えなどがあり、洗濯物や気温、湿度の状況に応じて調整することができるので便利です。

花粉もシックハウスも
住まい選びのポイント

床材選びでは、フローリングはつなぎ目が浅いものを選択しましょう。つなぎ目が深いとそこに花粉が入り込んでしまいます。特にじゅうたんは花粉が入り込みやすいのNGです。空気清浄機は大変有効な手段ですが設置場所に困ることも。そんな場合は天井埋込式の空気清浄機がオススメ。インテリアにもすっきりフィットして室内の空間をキレイにしてくれます。

花粉が多くても、屋内にたまる汚れた空気を排出しないとシックハウス症候群やハウスダストによる健康被害にもつながるため換気は必要。ただし、窓を開けて換気すると新鮮な空気は入りますが、同時に花粉も入ってくるため、なんとなく悩ましいところ。その点、高い気密性を有する「FPの家」なら、24時間稼働する計画換気システムを採用することで常に新鮮な空気を取り込んで巡回させているので安心です。給気口には微小な花粉をキャッチするフィルターもあるため、「FPの家」に住んでから花粉症の症状が緩和されたという声も多く寄せられています。花粉の侵入を防ぐ高性能住宅の「FPの家」で快適生活を実現しませんか？

